



～超高齢社会の問題解決に本気で取り組みたい人の為の～

## 介護予防事業 『脳若』 セミナー

---

主催：株式会社サムライト

# 登壇者のご紹介

## ◎株式会社サムライト



代表取締役

光岡 真里

# 本日のセミナー内容

1. 株式会社サムライトについて
2. 『脳若』サービスとは
  - (1) 脳若トレーニング（脳若クラウド）
  - (2) 脳若ノート
  - (3) 脳若プリント
  - (4) 脳若365
  - (5) 脳若人材育成
3. 脳若ステーションの契約体系と導入事例
4. 地域包括ケアシステムにおける脳若活用事例



# 1. 株式会社サムライトについて

# 会社概要

名称 株式会社サムライト

本社所在地 福岡市早良区百道浜

設立 2009年12月

資本金 4000万円

社員数 22名(パート従業員含む)



# 会社沿革

2003年	開業。大野城市公民館でシニア向けパソコン教室をスタート。
2009年	法人化。広島支部開設。
2010年	「みつおか式脳若®トレーニング」を本格的に展開
2012年	(株)シティアスコムのグループ会社として本社を百道に移転
2013年	福岡県粕屋町と協力し「エビデンスプロジェクト」を実施
2014年	「脳若ステーション」を全国展開へ 第9回日本応用老年学会にて発表
2015年	第5回認知症予防学会にて発表
2016年	第17回日本早期認知症学会にて発表 生活機能向上を目指すトレーニングツール「脳若ケア」を発売
2017年	日経BP社より『脳若』本 出版 光文社 女性自身「シリーズ人間」掲載
2018年	脳若365 サービス開始

「シニア向けＩＴサービス会社」

# 名前の由来について



トレーニング

## 登録商標です

(「脳若」：商標第5577660号)

# パソコン教室から生まれた「脳若」

2003～



2010～



# 「脳若」の出発点



継続して通う



コミュニケーションの形成



介護予防

# 脳若トレーニングのコンセプト



新たなコミュニティの創造

# 親会社について

## 株式会社シティアスコム

The screenshot shows the homepage of株式会社シティアスコム (City Ascom). The top navigation bar includes the logo, search bar, and links for HOME, 新着情報 (New Information), セミナー情報 (Seminar Information), and お問い合わせ (Contact Us). Below the navigation is a horizontal menu with links for 業務システム開発 (Business System Development), ソリューション (Solution), 製品 (Products), データセンター (Data Center), アウトソーシング (Outsourcing), 採用情報 (Recruitment Information), and 会社概要 (Company Profile). The main banner features a large building and the text "Going To Be ‘ICT-Partner’" and "御社のベストICTパートナーとして。". Below the banner are five service categories: 業務システム開発 (System Development), ソリューション (Solution), 製品 (Products), データセンター (Data Center), and アウトソーシング (Outsourcing). A section for Recommended Products (RECOMMENDED PRODUCTS) lists four items: 学校法人向け事務系システム (TOMAS-PS), 内部監査支援システム (PIASS II), ニアショアサービス, and 医療ICT診断サービス. On the right side, there is a recruitment section titled "新卒採用 RECRUITING SITE" showing four people and a link to the site. Below that are sections for "新着情報" (New Information) and "セミナー情報" (Seminar Information). A photograph of the company's building is on the right, with a sign that reads "AITビル".

# 弊社のロケーション



博多駅よりバスで30分



PHOTO : Fumio Hashimoto

# 当社入居ビル

フロアから見える福岡タワー



AITビル

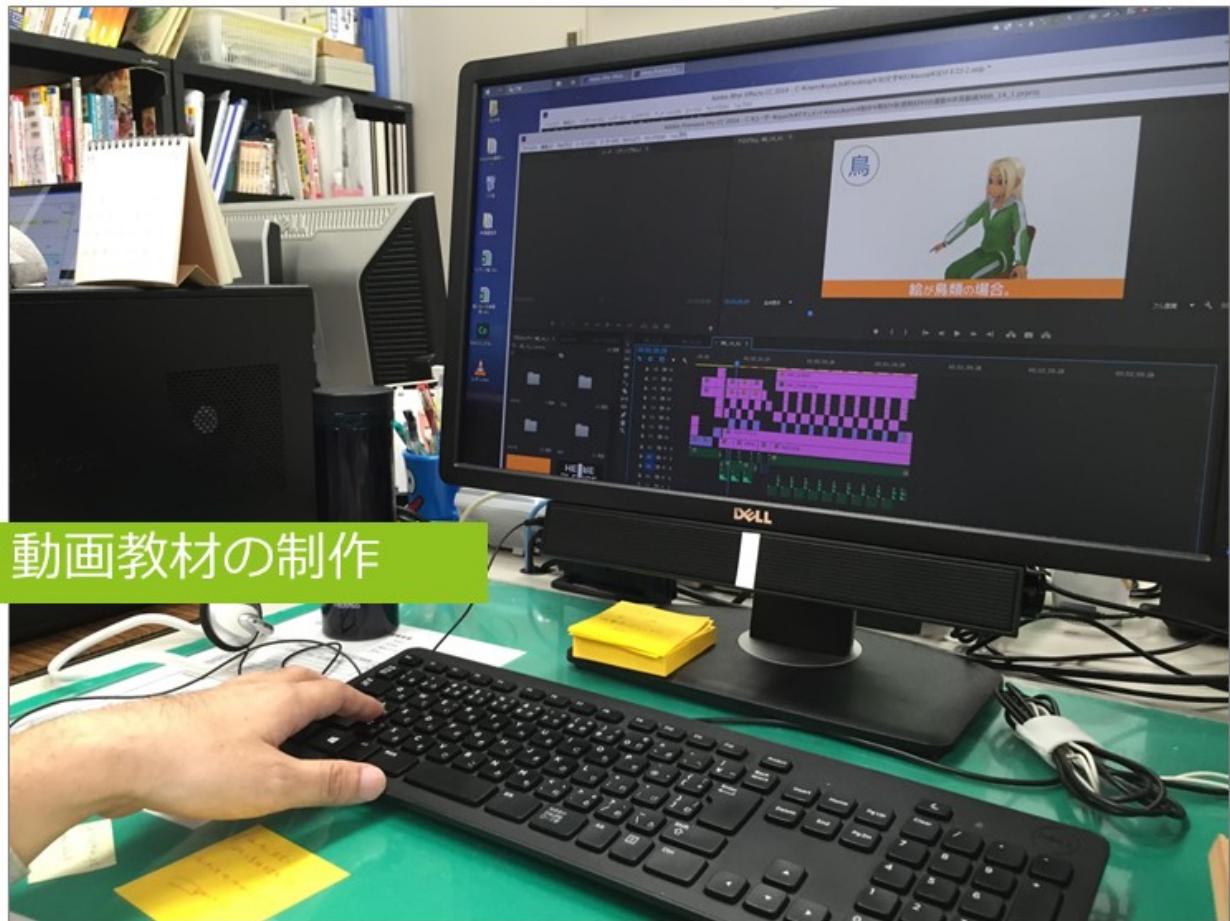


# 事務所風景

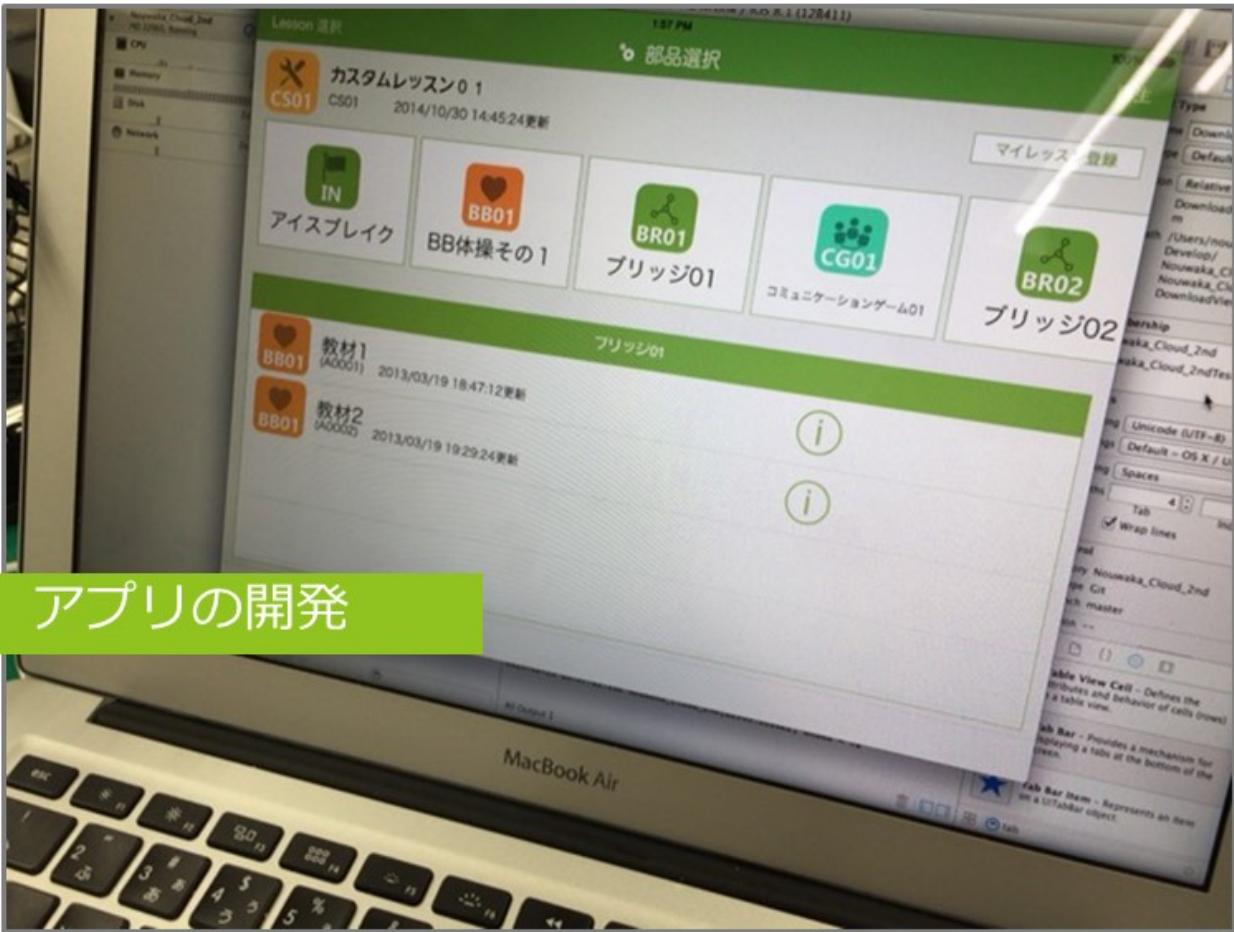
制作・営業スタッフが常駐



# 制作・開発の様子 1



# 制作・開発の様子 2



アプリの開発

# デザインチーム

こだわりのコンテンツ制作



専属デザイナー 1

専属デザイナー 3

専属デザイナー 2

ロゴ・教材・Webサイト等 すべてを内製

# メディア紹介実績(新聞・雑誌①)



2012/10/18 日経ビジネス  
日本を救う次世代ベンチャーとして紹介



2013/10 山梨県中央市広報

2016/03/11 西日本新聞

タブレット端末を使った認知症防の「みつおが式」脳若トレーニングを開発した。ゲームや体操などのレッスンをマンツーマンで配信し、受講者が講師や仲間と一緒に実践するが、料を得ている。

ひと  
サムライト（福岡市）  
光岡 真里社長

認知症予防の受講拡大

2003年、公民館で高齢者向けパソコン教室を始めたのが起業のきっかけで、09年に法人化。12年の日本政策投資銀行主催「第1回女性新ビジネスプランコンペティション」で最優秀賞を受賞。システム開発会社の出資も受けた。当初、「ビジネスになるが不安だ」と躊躇が、契約は100社講師は200人を超えた。急速に事業を拡大している。



2017/11/22 熱海新聞

2017/9/28 每日新聞  
・銚子電鉄「脳若トレイン」



9月28日(木)

2017年(平成29年)  
発行所: 東京都千代田区一ツ橋1-1-1  
〒100-8051 電話: 03(3212-0321)  
毎日新聞東京本社

# メディア紹介実績(新聞・雑誌②)

2014/11/06 西日本新聞

2014年(平成26年)11月6日 木曜日 生活 20

認知症予防 ヒント探る

**脳トレ iPad 使い表情明るく**

高齢者は認知症になると、要介護度が進んでしまい、日常生活の質も下がってしまう。認知症の治療法はまだ確立されていないだけに、できれば予防したい。「認知症予防」を掲げた取り組みから、普段の生活に活用できるヒントを探った。(井上真由美)

「I Padを使ったゲームに熱中する高齢者たち」

2016年(平成28年)7月10日(日曜日)

**教習所で「脳若トレーニング」 高齢者交通事故防ぐ**

認知症のリスクを減らすための「脳若トレーニング」を実施する教習所が増えており、現在は認知症の方々が運転免許登録や運転免許更新などに必要な知識を身につけるため、専門的な知識を学ぶための「脳若トレーニング」を受けたが義務付けられる。また、高齢者交通事故が減少を図る。

認知症の特徴を理解して、運転技術を向上させるための訓練を実施する。運転教習所は、認知症の方々が運転免許登録や運転免許更新などに必要な知識を身につけるため、専門的な知識を学ぶための「脳若トレーニング」を受けたが義務付けられる。また、高齢者交通事故が減少を図る。

**オリックス自動車**

2016/7/10 シルバー産業新聞

2018/1/19 神戸新聞

2018年(平成30年)1月19日 金曜日

**「脳使うほど強くなる」**

県内初構成 高齢者ら40人体験も

高齢者向け「脳若トレーニング」を始めた福岡市の福岡市役所は、この月の「高齢者月間」に合わせて、高齢者の脳機能を活性化するための「脳若トレーニング」を始めた。福岡市内での開催サイドイベントでは、高齢者が参加する講演会が開催された。講演会では、高齢者の脳機能が変わった財

■三木支局

■北播経局

2018/1/19 神戸新聞

# メディア紹介実績(新聞・雑誌③)

## AARP INTERNATIONAL ザ ジャーナル

※50歳以上が加入できる全米最大の非営利団体が毎年発行している情報誌。この冊子はダボス会議でも配布され日本の超高齢社会への施策・対応が全世界で注目されている。福岡の先進的な事例として紹介。

By David Everett  
Photographs by Marco Javier

**FUKUOKA – Far from the intensity of Tokyo, this relaxed, compact city rests beachside along Japan's coast, on the island of Kyushu. Its young mayor envisions the accessible city as the heart of Japan's Silicon Valley, but a closer exploration reveals other innovations as Japan faces the challenges of the world's most aging society. In Fukuoka, the young and old mingle like the glitz shops and ancient temples the city proudly displays.**

If you visited Fukuoka, you might meet Mari Mitsuoka, the entrepreneur behind a company that produces a brain health training curriculum for seniors. Mitsuoka's company, Samurais, demonstrates the ingenuity of this seaside city. She had no IT or education background, yet her tablet-based product already is popular enough to be featured in 70 classes across Japan.

You also might run into 73-year-old Shionoi Araki, a degree-laden example of how Japanese citizens are embracing the later stages of their lives. Araki is pursuing his master of law degree — his third graduate credential — following retirement from a management career at large corporations. In fact, he chose Fukuoka

for the next stage of his life, after living in Tokyo and other cities worldwide. And if you are lucky, you might get time with Seiichiro Takashima, 43, the youngest mayor ever of this bold metropolis and the man who believes Fukuoka must be attractive and supportive for all ages, including seniors. "Personally, I believe that each generation group sees a different view, even with living in and looking at the same city," said Takashima, who became mayor at age 36. He insists his city can help end the questions about how to promote growth while facing the demographic shifts enveloping Japan: "It may very well be that not only the rest of Japan, but the entire planet is waiting for that answer." ■



# メディア紹介実績(新聞・雑誌④)

## 女性自身(光文社) シリーズ人間

2017年11月14日発売号に白黒7ページで掲載

失敗することで  
脳は若くなる!

認知症予防の  
「みつおか式脳若  
トレーニング」開発者  
株式会社サムライト社長  
光岡真里さん(52)

両親の介護の経験から、  
プログラムを独自に開発。  
できなくても、新しいことに  
チャレンジする喜びを感じられる  
講座に、受講者は延べ2万人を  
超えて、全国に広がるまで――。

女性自身



# メディア紹介実績(TV①)

2013/06/09 TVQ 九州放送



光岡式脳若トレーニング

2013/09/18 RKB毎日放送



2014/11/15 FBS 福岡放送



7:11

脳を活性化! 地域で認知症予防ステップ

5+7=12(偶数)

2015/02/06 KBC九州朝日放送



2015/03/12 RKB毎日放送

# メディア紹介実績(TV②)

2016/02/26 KBC九州朝日放送

2015/03/21 愛知県みよし市TODAY



2018/01/20 RKB毎日放送 志情熱企業



2015/06/02 NBC 長崎放送

2015/06/09 KYT鹿児島読売テレビ

# 九州ニュービジネス大賞優秀賞を受賞

新規性、革新性、将来性、そして社会貢献性が認められました



# 福岡デザインアワード2017受賞



- ・福岡県主催のコンテストで入賞
- ・対象はアプリや教材をはじめとする脳若のサービス全体

FUKUOKA DESIGN AWARD



# 「脳若トレイン」運行

2016年10月、パソコン教室アムリタ(福岡県朝倉市)と甘木鉄道がタイアップし、  
列車の中で楽しむ脳若が実現。毎年人気のイベントとして定着。  
2017年9月には銚子大洋自動車教習所（千葉県銚子市）と銚子電鉄が運行。



2016/10/18 TVQ九州放送

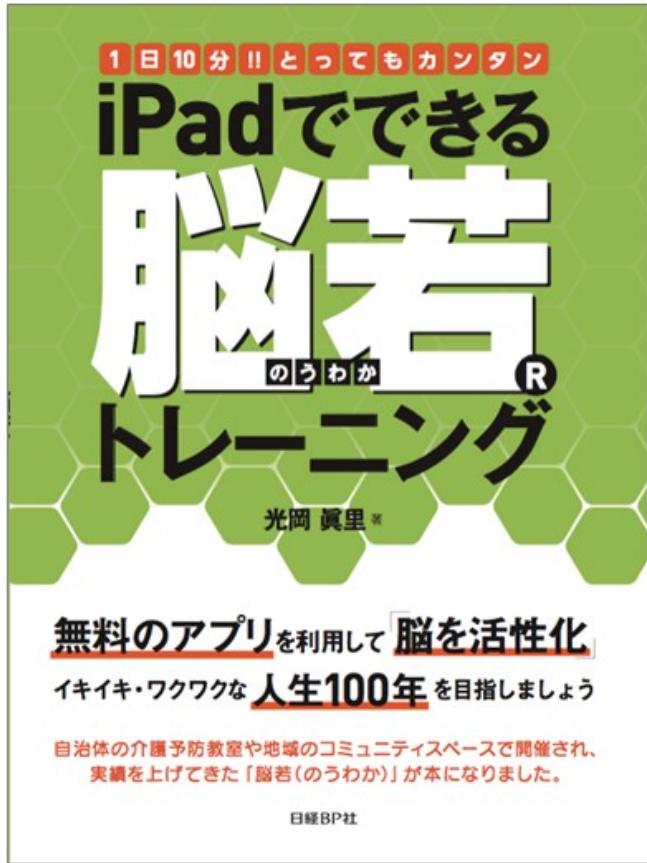


テレビのニュースで  
報道されました



銚子でも脳若トレイン運行

# メディア紹介実績(書籍)



著者 光岡 真里  
発行 日経BP社  
発行日 2017年12月18日  
A4オールカラー・136ページ  
1,380円

## <目次>

1. 脳若トレーニングとレジリエンス
2. iPadの基本と使い方
3. 脳若講座のトレーニング
4. 脳を若返させるアプリの利用
5. レジリエンスワークの共有

iPadを使った脳若体験に加えて、全国の導入事例をご紹介。

# 研究事業について 1 / 3

2014/10/26 「第9回日本応用老年学会大会」で研究成果を発表

第9回 日本応用老年学会大会

テーマ 高齢化を迎えた団塊世代のビジョン

平成26年10月26日(日)

開催地 神奈川県相模原市  
桜美林大学  
プラネット洞野辺キャンパス

日本応用老年学会

一般演題 16  
自社開発プログラム(脳若トレーニング)による短期記憶、近記記憶の向上  
岡 真実り、園田 真也り、北野 博一  
株式会社サムライ、(以下、脳若トレーニング開発会社)

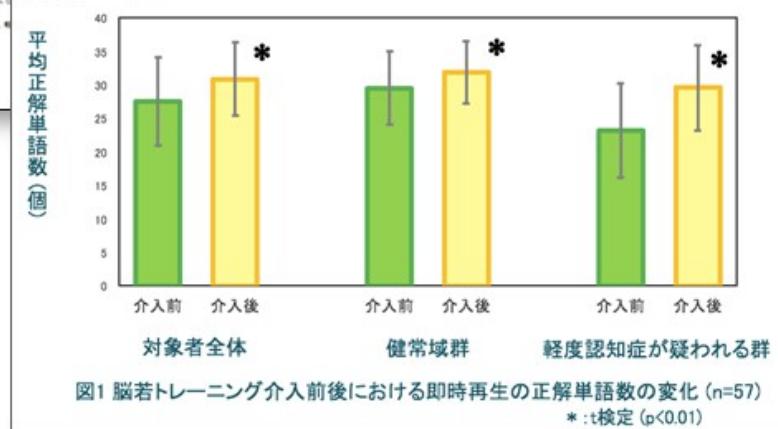
【目的】  
株式会社サムライが認知症予防を目的に開発したトレーニングプログラム(以下、脳若トレーニング)の介入することで記憶力および自己効力感にどのような影響を与えるか検討した。

【方法】  
高齢者と若者で構成する被験者は合計500名のうち、試験に協力を希望した400名より、脳若トレーニングの効果を評価するための検定基準を満たす者を抽出して、脳若トレーニングを3ヶ月間実施してもらった。なお、受講者は日本認定認知症専門士(以下、認定士と呼ぶ)、無認定認知症専門士(以下、自己効力感測定テスト)、自己効力感評価(以下、自己効力感評価)を行い、3ヶ月間の受講の有無(自己効力感評価)と自己効力感評価を行った。

【結果】  
被験者は100名のうち脳若トレーニングを実施された受講者は77名を有効回答者とした。さらに自己効力感の得点で被験者を(22~30点)と軽度認知症が疑われる群(22~26点)に分けられた。  
無認定認知症専門士の結果、高齢者では脳若トレーニング介入群に両群とも効率的な増加が見られた。  
認定士では軽度認知症が疑われる群のみ、介入群の正解回答数が改善な形で増加することがわかった。  
自己効力感評価では脳若トレーニング介入による自己効力感の効力感および自己効力感の効率性が改善する傾向は認められなかった。

【考察】  
脳若トレーニングが介入することで即時再生による単語の正解回答数は全体的に改善が見られた。逆再生では脳若トレーニング介入群の改善が他の群よりも効率的であることがわかった。脳若トレーニング介入することで、軽度認知症や認知症が疑われる群での自己効力感が増加したことや自己効力感および認知効能を何らかの形で改善されることが想定される。

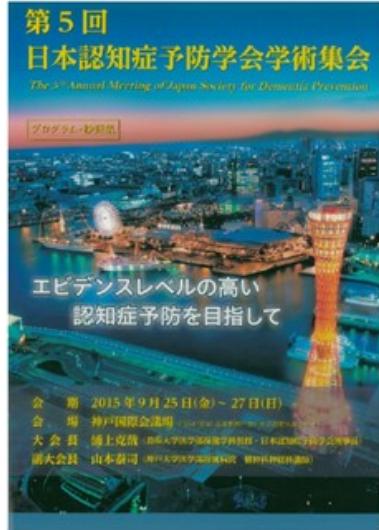
福岡県柏屋町での実証実験で判った  
脳若トレーニングの効果について発表



# 研究事業 2 / 3

2015/9/26 「第5回日本認知症予防学会学術集会」で研究成果を発表

## ITを利用した認知症予防プログラム 「脳若トレーニング」の効果と地域づくりへの広がり



2A-2

### ITを利用した認知症予防プログラム 「脳若トレーニング」の効果と地域づくりへの広がり

共同著者：\*、菅原真樹\*

\*特定非営利活動法人道と日本をつなぐ会

2) 高齢ドバイリーリング大学連携会議パフォーマンス会

#### 【目的】

「脳若トレーニング」は認知症予防を目的に平成22年より開発を着手し、平成27年度には企画的・評価的・実用的の企画予防講座に採用されている認知機能トレーニングプログラムである。

その特徴は、iPadやタブレットなどIT機器の活用により、参加者の個々のパフォーマンスを認識する

ことから、今後は家庭内での利用による介入効果と、参加者が授講前に開

開している地域づくりともいふ効能を備えている。

#### 【方法】

被験者は平成25年に主催した研修会にて「脳若トレーニング」を実施し、平均年齢・男性75歳・女性71歳、平均BMI26.6kg/m<sup>2</sup>、平均歩数27,000歩を記録。参加者は各自の認知機能スクリーニングにおいて27~30点を健常範囲、21~26点を軽度認知障害と見做された者とした。トレーニングの主力内容は機能的に発達を想起する課題をプログラムである。

#### 【結果】

被験者では初期記憶・精度認知能が保たれる割合は初期記憶および初期記憶

の向上が少なかった。また、受講後、主婦1町でIT予防講座受講者から薦めや

指導等を教えて合う自主運営グループが誕生し、定期的な活動を継続している。

また、主婦1町では受講者の中から生活支援サポートが誕生し、地域の介護手

の問い合わせとなっている。

#### 【専門的配達】

受講者にもIT活用した介入は十分可能である。むしろ、IT利用により男性高齢者の認知機能の早期検出と早期介入が可能である。また、ITによる記憶の強化と認知機能の維持する可能性がある。受講後にITスクールの利用や

介護手帳の問い合わせを開始する意識がみられた。介入期間が限られているもの、「脳若

トレーニング」に積極づけ、地域づくりに寄与する可能性が示唆された。



## 第5回日本認知症予防学会学術集会

第5回日本認知症予防学会学術集会

### ITを利用した認知症予防プログラム「脳若トレーニング」の効果と地域づくりへの広がり

2015年9月26日

共同著者：\*、菅原真樹\*

\*特定非営利活動法人道と日本をつなぐ会  
2) 高齢ドバイリーリング大学連携会議パフォーマンス会

# 研究事業 3／3

2015年～九州大学大学院芸術工学院と共同研究を実施

研究テーマ：認知機能のレジリエンスに関する基礎的研究

脳若トレーニングの効果を  
「行為分析」の手法で解析



「レジリエンス」の考え方を教材コンテンツに反映

# 九州大学との共同研究

九州大学  
応用生理人類学研究センター  
PHYSIOLOGICAL ANTHROPOLOGY RESEARCH CENTER

PARC  
ENGLISH

Top 概要 部門紹介 メンバー 活動状況 その他

Introduction Research Groups Members Activities Others

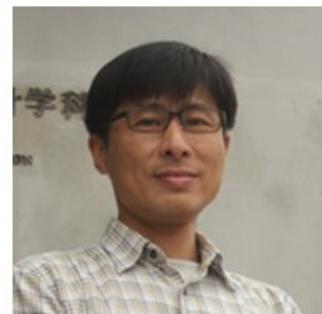
地域の未来  
人類の未来

お問い合わせ  
〒815-8540  
福岡市南区椎原4-9-1

センター紹介



九州大学  
応用生理人類学研究センター  
レジリエンスデザイン部門  
准教授 尾方義人 先生



九州大学  
応用生理人類学研究センター  
レジリエンスデザイン部門  
准教授 藤智亮 先生

2015年テーマ  
「認知機能のレジリエンス向上に  
関する基礎的研究」

2016年テーマ  
「認知機能のレジリエンス向上のための  
コンテンツ開発に関する研究」